

横浜線相原駅 橋上駅舎化 工事に着手

横浜線相原駅自由通路及び橋上駅舎化工事の起工式が12月15日に行われました。

この工事により、駅舎を橋上化し、使いやすい駅にするともに、

横浜線により分断されている東西地区を結ぶため、自由通路を設置します。施設概要としては、橋上駅舎部分の規模は、幅18メートル、長さ32メートル、延床面積約865平方メートル、地上2階建て（一部3階建てでエスカレーター4基、エレベーター2基などが設置されます。総事業費は約18億1400万円、町田市負担分は12億2100万円で、2004年3月に完成予定です。

この相原駅整備により、西側の都市計画道路の整備、相原駅周辺の整備に弾みがつくものと期待されます。

なお、相原駅橋上駅舎の完成予想図は本紙1面に掲載しています。

町田市消防団出初め式 1月13日(日)・市役所中町第二庁舎駐車場



昨年の出初め式より

新春恒例の町田市消防団出初め式が、1月13日(日)午前9時30分から町田市役所中町第二庁舎駐車場で行われます。

出初め式は、消防に携わる人々の志気の高揚と防火・防災に対する決意を新たにする式典です。当日は、規律正しく整列をした団員への観閲や優良消防団表彰などの式典に続き、町田消防少年団

町田市環境基本計画の 策定について答申



寺田市長に答申書を手渡す
永井会長(左側)

市では、環境施策を総合的、計画的に進めていくため「環境基本計画」の策定作業を進めていきました。今年8月に町田市環境基本計画第二次案について、9月に町田

市環境審議会(永井会長)に諮問していましたが、12月14日、会長から答申を受けました。

答申では、基本計画第一次案の構成及び内容についておおむね妥

災害時の協力協定を締結

市では、災害時における高齢者等災害弱者の安否確認と応急介護について、12月20日、町田市高齢者福祉施設運営協議会(会長〓杏林荘園長・稲吉平四郎)と協力協定を締結しました。

これを実施するのは、社会福祉法人やNPO法人、財団法人で構成している町田市高齢者福祉運営協議会に加盟している13法人・事業者です。

今後、協議会以外の事業者とも



市と協力協定を締結(稲吉会長〓右側)

子ども マラソン大会 1269人が走りました



練習の成果を発揮し、みんな頑張りました

第29回子どもマラソン大会が12月2日、野津田公園内の市立陸上競技場で行われました。今回の参加者は小学生3年生から6年生まで1269人、懸命に走る姿に、観客約3200人が盛んな声援を送っていました。

【3年女子】2000〓①大川未季(忠生第二)②田辺聡子(南大谷)③小林英佳(南大谷)
【4年男子】2000〓①大迫傑(金井)②上保龍平(町田第五)③島村翔(小川)
【4年女子】2000〓①安藤しおり(鶴間)②田辺明日香(山崎)
【5年男子】2000〓①小口洋平(忠生第一)②唐澤拓也(原)③中里泰宏(小山田南)
【6年男子】2000〓①カンボス未蓮(玉川学園)②峯村泰帆(成瀬中央)③藤野英恵(山崎)

一人ひとりの地球温暖化対策

[CO₂換算]

取組みの例	一世帯当たりの年間CO ₂ 削減効果	一世帯当たりの年間排出量に対する削減割合(%)	一世帯当たりの年間節約効果	備考
1 冷房の温度を1 高く、暖房の温度を1 低く設定する	約31kg / 年	0.5%	約2,000円 / 年	カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着るものを工夫することで、冷暖房機に頼らないで過ごせる。冷暖房を始める時期も少し待ってみる。
2 週2日往復8kmの車の運転をひかえる	約185kg / 年	3.1%	約8,000円 / 年	通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用する。歩いたり自転車を使う方が健康にも良い。
3 1日5分間のアイドリングストップを行う	約39kg / 年	0.7%	約2,000円 / 年	駐車や長時間停車するときはエンジンを切る。大気汚染物質の排出削減にも寄与する。
4 待機電力を90%削減する	約87kg / 年	1.5%	約6,000円 / 年	主電源を切る。長期間使わないときはコンセントを抜く。買い換えのときは待機電力の少ない製品を選ぶ。
5 シャワーを1日1分家族全員が減らす	約65kg / 年	1.1%	約4,000円 / 年	身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにする。
6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす	約17kg / 年	0.3%	約5,000円 / 年	洗濯や、庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいる。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利である。
7 ジャーの保温を止める	約31kg / 年	0.5%	約2,000円 / 年	ポットやジャーの保温は、利用時間が長いので多くの電気を消費する。こはんは電子レンジで温めなおすほうが電力消費が少なくなる。
8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす	約240kg / 年	4.1%	約11,000円 / 年	家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に必要になる。
9 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ	約58kg / 年	1.0%		トレーやラップは家に帰ればすぐごみになる。買物袋を持ち歩いてレジ袋を減らすことも出来る。
10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす	約13kg / 年	0.2%	約1,000円 / 年	見たい番組だけ選んで見るようにする。
合計	約766kg / 年	13.0%	約41,000円 / 年	
国全体での効果	約34.7百万トン / 年			日本全体の温室効果ガス排出量(1990年)を2.8%削減。

(注)一世帯当たりの年間CO₂排出量: 約5,900kg、我が国の世帯数: 4,742万世帯(1999年) 我が国の乗用車数4,000万台
我が国全体での効果の算出方法: 自動車の取組(2.3)による削減効果×4,000万台+その他の取組×4,742万台(世帯)=34.7百万トン
我が国の京都議定書基準年の温室効果ガス排出量: 1,223.8百万トン (出典=環境省)

一人ひとりが心がけよう 地球温暖化対策

家庭で次の表の取り組みを行うと、私たちの国の温室効果ガス排出量を2.8パーセント削減できます。冬は、家庭でのエネルギー消費が増えます。できるものから取り組んでみましょう。